

学校名 : 学校法人開新学園 熊本工業専門学校
課程名・学科名 : 職業実践専門課程 自動車整備工学科・電気システム科・機械システム科
資料名 : 自己評価結果公表資料

平成29年度自己評価結果

1 平成29年度 熊本工業専門学校 教育重点目標

建学の精神「創造・倫理・実践」を礎に、我が国、とりわけ郷土熊本の産業経済に貢献できる人間性に富み、社会の変化に柔軟に対応できる創造性豊かな「中堅技術者」を養成するとともに、留学生に対して日本語教育を通し、広く国際貢献への橋渡しを行う。

また、留学生との交流を通し、国際的に活躍できる技術者となるための感性を磨かせる。

2 本年度の重点課題

- (1) 中期振興計画に基づいた学校運営の推進（4年目）
- (2) 「職業実践専門課程」の推進
自動車整備工学科、電気システム科、機械システム科
- (3) 専門実践教育訓練制度の導入
実施対象学科：自動車整備工学科、電気システム科
- (4) 本年度予算経費の縮減（学生数の減少に伴う）
- (5) 教職員対象の研修会の実施（管理・指導両面から実施）
- (6) 学校関係者評価委員会の実施（平成29年2月実施）
- (7) 教育指導の推進
- (8) 広報活動の推進（全教官による推進体制）
- (9) 管理運営事項の徹底

3 自己評価の段階

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

(1) 教育理念・目標

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|
| ア 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ 学校における職業教育の特色は何か | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- 高校側に専門工業教育の特色について理解されているか
- 近年工業系志願の学生減少いわゆる工学離れが懸念されるが、学校の特色をもっと内外にアピールする手段を講じる必要がある。
- 学生便覧の内容の修正・追加が必要。中期振興計画が策定されてから4年目になり、次期の学校改革について早急に検討する必要がある。

② 今後の改善方策

- 情報発信を徹底的に拡大していく。
- 広告宣伝等にどのような媒体が効果的なのか、旧来の方法でよいのかを検証する必要がある。それぞれの特色に応じた魅力向上策を各科で策定し推進する。最先端の課題教育の実施。
- 本年度、学生生活全般に渡る手引き書として「学生便覧」を作成し、平成29年度入学当初に配付済。平成29年度中に学校活性化委員会を立ち上げ、学校関係者評価委員会で審議する。

③ 特記事項

- 高校との連携強化

(2) 学校運営

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|
| ア 目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ 人事、給与に関する規程等は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| カ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制(法律・倫理遵守)が整備 されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| キ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ク 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- 教職員の意欲向上

○少子化や工学離れ等の影響による厳しい経営環境の中、質の高い教育を継続していくためには経営基盤の安定が不可欠と考える。

○中期振興計画の策定や職業実践専門課程認可への取組等を通じて、学校運営上は円滑に推進されているが、経営基盤の根幹である学生数の確保が重要課題である。中期振興計画が平成30年度で完成年度となることから、次期学校活性化への取組の検討が必要。

② 今後の改善方策

○経営基盤の安定イコール学生の確保が絶対なのは誰もが考えるところではあるが、魅力ある学校づくりに志取り組み志願者増を目指す。

○中期振興計画の策定や職業実践専門課程認可への取組等を通じて、学校運営上は円滑に推進されているが、経営基盤の根幹である学生数の確保が重要課題である。中期振興計画が平成30年度で完成年度となることから、次期学校活性化への取組の検討が必要。

③ 特記事項

○では魅力ある学校とは何か？良い企業に就職できる・国家資格の取得を目指せる・適職が見つかる等々

(3) 教育活動

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|---|-------------------------------|---|---|---|
| ア 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| カ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| キ 授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ク 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ケ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| コ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| サ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| シ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ス 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| セ 職員の能力開発のための研修等が行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

○若手教官の育成が急務である。

○常任教官が不足しており、一人当たりの負担が大きくなっている。

○常に変化する社会のニーズに合った即戦力(人材)の育成

○建学の精神である「創造、倫理、実践」をいまいちど深く考える。

○文部科学省から職業実践専門課程を全科が指定を受け、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員

会等を通じて、全体的に各科の教育体系は整備されてきた。特に、最近国家資格合格率が低迷している自動車整備工学科の体制の整備を図る必要がある。

② 今後の改善方策

- これから、高齢の非常勤の先生方は辞めていくことが予想されるので、実務経験のある実習関係の担当者確保していく必要がある。
- 教員の研修
- 国家資格取得面で、自動車整備工学科の合格率を高めるための手立てを構築する。

③ 特記事項

(4) 学修成果

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|
| ア 就職率の向上が図られているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ 資格取得率の向上が図られているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ 退学率の低減が図られているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- 留学生の増加により、退学率が増加傾向にある。
- 入学時から課題を抱えている学生数が増加し、加えて留学生の増加により、退学率が増加傾向にある。
- 各専門学科の成果を全教員が把握する
- 同窓会活動がない。
- 自動車整備工学科の国家資格合格率の低下が懸念される。また、本年度から留学生が資格取得の時期になることから、対応策が求められる。また、同窓会との連携を通じて本校に対する評価、企業の情報等を計画的に入手することが必要。

② 今後の改善方策

- 特効薬はないが、よりきめ細かな指導を続けるしか方策が見当たらない。
- 情報の収集
- 各界で活躍している卒業生を良い意味で利用して学校の活性化を図る。同窓会組織の立て直し再構築。
- 自動車整備工学科の国家資格合格率アップに向けた対応策の構築について、科に検討するよう指示した。平成30年度、同窓会の開催を推進したい。特に、自動車整備工学科を主体に。

③ 特記事項

(5) 学生支援

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|---------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ア 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ 学生相談に関する体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|--|
| エ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| オ 課外活動に対する支援体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| カ 学生の生活環境への支援は行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| キ 保護者と適切に連携しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| ク 卒業生への支援体制はあるか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| ケ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| コ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |

① 課題

- 担任の学生理解・指導・連携などの徹底
- 病気、ケガ等が発生した時の保健室などが無い。
- 学生支援では、ハード・ソフト両面での整備が必要と考える。

② 今後の改善方策

- 同窓会の定期的開催・創立30周年時に全体で総会開催・各科で随時開催
- 卒業生との連携の強化が重要。ハード面は、中長期的な観点からの整備が必要と考える。ただし、対応が可能な事柄については出来るところから対応する必要がある。

③ 特記事項

(6) 教育環境

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | | |
|--|---------------------------|---|---|---|--|
| ア 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| イ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| ウ 防災に対する体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |

① 課題

- 施設設備の老朽化
- 目標を出来る事より随時実施
- 校舎、設備、教材の老朽化が目立つ。
- トイレなど 掃除をしても長年の蓄積した汚れのためなかなかきれいにならない。教室のクロスが はげ落ちている。小中学校のように教室に各ディスプレイがあれば、紙の消費が節減できるとおもう。
- 開学34年となり施設・機器備品等の老朽化は否めない。経年劣化による不具合の箇所が散見されているが、これからますます修理・改修箇所が増えていくものと予想される。
- 創立から35年を経過し、施設設備の老朽化が顕著になり補修などに伴う予算が増加している。早期に、今後の学校の在り方を検討する必要がある。

② 今後の改善方策

- 教室でインターネットを活用した授業が行えるように整備する。
- 早い時期の改善対策が必要
- 上記①に示すように環境整備について検討する必要がある。そのことが学生募集に結びつく

ものと思料される。

③ 特記事項

(7) 学生の受入れ募集

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ア 学生募集活動は、適正に行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ 学納金は妥当なものとなっているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- 留学生の授業料を安く設定しすぎている。
- 留学生の授業料が日本人に比較して安く設定しすぎではないか。
- 学生募集の取り組み徹底
- 開新高校、地方、県外生徒に対する優遇措置を増やす。
- 県下及び九州管内の学校訪問は定期的を実施しているが、単なるルーティーンになっていないか？
- 留学生の授業料
- 学生募集は、教育振興の根幹であり継続的に全職員が協力して行うことが重要。

② 今後の改善方策

- 留学生の授業料の値上げ
- 特待制度、アパート代の援助
- 各学校を訪問するだけでなく、本学の魅力を充分アピールできる方法を考えてみる。職員全員が営業マンでなければならないと考える。
- 学生募集の地域割り担当を策定しており、これに基づいて実施する。

③ 特記事項

- 飛び込みの営業が来たのと同じ扱いを受けているのでは…。過去に入学実績のある学校を重点的にセールス。進路指導教員との人間関係の構築。

(8) 財務

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|----------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ア 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ 財務について会計監査が適正に行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ 財務情報公開の体制整備はできているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- 学生数の減少による、収入の減少

○収支のバランスを確保の必要

○近年、学生数の減少に伴い財政基盤が弱体化している。学生数の確保が最重要課題と言える。

② 今後の改善方策

○日本人学生の確保

○節約・財政基盤の確立

○全職員による学生募集活動の実施。効率的な広報活動の推進。新たな学校活性化に向けた検討を進め、教育の振興を図り、学生募集の推進を図りたい。

③ 特記事項

○債務基盤の安定性を判断することは現在の立場では困難

(9) 法令等の遵守

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ア 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ 自己評価結果を公開しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|---|-------------------------------|---|---|---|
| | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ア 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

○校内清掃等のボランティア活動は実施されているが、不十分と思う。

○厚生労働省が行っている「専門実践教育訓練」の広報の充実

②今後の改善方策

○年1回校内清掃等のボランティア活動は実施しているが、もう少し回数を増やし校外での活動を実施する。
例えば、広大な学校敷地の外周のゴミ拾いや、農免道路沿いのゴミ拾い等、外部の人の目に触れる活動。
正門・西門・東門周辺での交通指導を当番学生にさせる。

○平成29年度の入試で、専門実践教育訓練を対象とした学生の募集が1名あった。このことを充実させるため、広報の拡大を検討する。

③ 特記事項

○地域の住民のみならず、周辺を通過するドライバーにもアピールできる。

(11) 国際交流

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ア 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- 留学生の資質の向上・毎年定員の確保・教職員の指導力の向上・
- 留学生の増加に対して、担当する教員が不足している
- 受入れ留学生の質の向上。受入れ留学生の語学力の向上及び生活マナーの教育。
- 留学生の増加に対して、担当する教員が不足している

② 今後の改善方策

- 優秀な日本語の出来る技術者の育成
- 留学生に関する業務を分担し、専門に担当する人員を配置していただければ助かります
- 2年間日本語科で学んでも、語学力に不安な学生が散見される。学校内での母国語の禁止や日本人学生との交流をもっと活発にするなど思いきった改革が必要。アパートでの近隣住民とのトラブル等を聞くので、日本での生活マナーの徹底教育。
- 留学生に関する業務を分担し、専門に担当する人員を配置していただければ助かります

③ 特記事項

- 学費納入の指導。交通マナー

| | | (1) | | | | | (2) | | | | | | | (3) | | | | | | | | | | (4) | | | | | | | | | |
|------|----------|------------|-----|-----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | 教育理念・目標 | | | | | 学校運営 | | | | | | | 教育活動 | | | | | | | | | | 学修成果 | | | | | | | | | |
| | | ア | イ | ウ | エ | オ | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | ク | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | ク | ケ | コ | サ | シ | ス | セ | ア | イ | ウ | エ | オ |
| 自己評価 | 平成26年度 | 3.3 | 3.3 | 2.6 | 2.6 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 2.9 | 2.7 | 2.9 | 2.9 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 3.2 | 2.8 | 2.9 | 3.1 | 3.0 | 3.0 | 3.1 | 3.0 | 2.6 | 2.6 | 2.6 | 2.9 | 3.4 | 3.0 | 2.7 | 2.6 | 2.7 |
| | 平成27年度 | 3.4 | 3.3 | 2.9 | 2.9 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.0 | 2.9 | 3.0 | 3.2 | 2.9 | 3.2 | 3.2 | 3.3 | 3.1 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | 3.3 | 3.1 | 3.0 | 2.9 | 3.0 | 3.0 | 3.3 | 2.9 | 2.8 | 2.5 | 2.7 |
| | 平成28年度 | 3.2 | 3.2 | 2.9 | 2.9 | 3.0 | 3.1 | 3.0 | 3.1 | 3.2 | 3.1 | 3.1 | 3.3 | 3.0 | 3.2 | 3.2 | 3.3 | 3.2 | 3.3 | 3.5 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 3.4 | 2.9 | 2.7 | 2.6 | 2.8 |
| | 平成29年度 | 3.5 | 3.3 | 2.9 | 3.0 | 3.1 | 2.9 | 3.0 | 2.9 | 3.1 | 2.9 | 3.1 | 3.2 | 2.8 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | 2.9 | 3.2 | 3.4 | 3.3 | 3.4 | 3.4 | 3.2 | 2.8 | 2.6 | 2.6 | 2.6 | 3.2 | 2.8 | 2.7 | 2.5 | 2.7 |
| | 前年度比較 | ↗ | | | | | | | | | | | | | | | | ↘ | | | | | | | | | ↘ | ↘ | | | | | |
| | 平成29年度平均 | 3.2 | | | | | 3.0 | | | | | | | 3.1 | | | | | | | | | | 2.8 | | | | | | | | | |
| 学校評価 | 平成27年度 | 3.7 | | | | | 3.2 | | | | | | | 3.6 | | | | | | | | | | 3.4 | | | | | | | | | |
| | 平成28年度 | 3.3 | | | | | 3.4 | | | | | | | 3.6 | | | | | | | | | | 3.2 | | | | | | | | | |
| | 平成29年度 | 3.3 | | | | | 3.4 | | | | | | | 3.2 | | | | | | | | | | 3.3 | | | | | | | | | |
| | 前年度比較 | | | | | | | | | | | | | ↘ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | (5) | | | | | | | | | | (6) | | | (7) | | | (8) | | | | (9) | | | | (10) | | | (11) | | | |
|------|----------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|-----|
| | | 学生支援 | | | | | | | | | | 教育環境 | | | 学生の受入れ募集 | | | 財務 | | | | 法令等の遵守 | | | | 社会貢献・地域貢献 | | | 国際交流 | | | |
| | | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | ク | ケ | コ | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | エ | ア | イ | ウ | エ | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | エ |
| 自己評価 | 平成26年度 | 3.1 | 3.0 | 2.7 | 2.3 | 2.3 | 2.5 | 2.9 | 2.4 | 2.4 | 2.6 | 2.0 | 2.7 | 2.8 | 2.9 | 3.0 | 3.1 | 2.3 | 2.4 | 2.7 | 2.7 | 3.1 | 2.9 | 3.1 | 3.1 | 2.5 | 2.6 | 2.3 | 3.0 | 3.1 | 2.8 | 2.7 |
| | 平成27年度 | 3.3 | 2.9 | 2.9 | 2.7 | 2.7 | 2.6 | 2.9 | 2.5 | 2.7 | 2.7 | 2.2 | 2.7 | 2.5 | 2.9 | 3.0 | 3.3 | 2.5 | 2.9 | 3.0 | 3.0 | 3.3 | 2.9 | 3.1 | 3.3 | 2.7 | 2.6 | 2.5 | 3.0 | 3.0 | 2.8 | 2.6 |
| | 平成28年度 | 3.2 | 3.1 | 2.9 | 2.7 | 2.6 | 2.6 | 3.0 | 2.4 | 2.8 | 2.8 | 2.3 | 2.9 | 3.2 | 3.0 | 3.0 | 3.1 | 2.2 | 2.8 | 3.1 | 3.0 | 3.2 | 3.0 | 3.1 | 3.4 | 2.8 | 2.5 | 2.3 | 2.8 | 2.9 | 2.8 | 2.6 |
| | 平成29年度 | 3.3 | 3.1 | 2.6 | 2.8 | 2.6 | 2.4 | 2.8 | 2.4 | 2.4 | 2.8 | 1.9 | 2.8 | 3.2 | 2.9 | 3.0 | 2.6 | 2.3 | 2.5 | 3.0 | 3.0 | 3.3 | 3.1 | 3.0 | 3.4 | 2.4 | 2.4 | 2.2 | 2.6 | 2.9 | 2.6 | 2.4 |
| | 前年度比較 | | | ↘ | | | | | | ↘ | ↘ | | | | | ↘ | | ↘ | | | | | | | ↘ | | | | | | | |
| | 平成29年度平均 | 2.7 | | | | | | | | | | 2.6 | | | 2.8 | | | 2.7 | | | | 3.2 | | | | 2.3 | | | 2.6 | | | |
| 学校評価 | 平成27年度 | 3.4 | | | | | | | | | | 3.0 | | | 3.3 | | | 3.0 | | | | 3.4 | | | | 3.0 | | | 3.4 | | | |
| | 平成28年度 | 3.4 | | | | | | | | | | 3.1 | | | 3.3 | | | 3.3 | | | | 3.6 | | | | 3.2 | | | 3.4 | | | |
| | 平成29年度 | 3.4 | | | | | | | | | | 3.0 | | | 3.3 | | | 3.0 | | | | 3.3 | | | | 3.4 | | | 3.4 | | | |
| | 前年度比較 | | | | | | | | | | | | | | | | | ↘ | | | | ↘ | | | | | | | | | | |

※ 0.3以上の上下変動について比較欄に記載